

同和問題について 正しい知識を 身につけましょう

日本では歴史の過程で形づくられた身分差別により、国民の一部の人々が、長い間、社会の中で低い状態におかれることを強いられ、今なお、日常生活の中でいろいろな差別を受けている問題があります。これを同和問題と言います。

国は地方公共団体とともに、この問題を解決するためにさまざまな取組を行ってきましたが、結婚や就職問題を中心とする差別はいまだに後を絶ちません。

このような差別を解決していくためには、私たち自身が正しい知識を深め、一人ひとりが自身の課題として、解決に向けて努力していかねばならない問題です。

五霞町には、これらの課題解決のため、任意運動団体（茨城県及び五霞町対応団体）が2団体あります。

- ・部落解放同盟全国連合会茨城県連合会五霞支部
支部長 松本孝敏
 - ・部落解放愛する会茨城県連合会五霞支部
支部長 宮内元生
- （敬称略）

団体の活動につきましては、同和問題の早期解決に向けて、調査研究・研修会・啓発等の活動事業を行っています。

お問い合わせ
人権同和对策室（内線214）



学校コーナー

五霞東小学校の 取り組み

五霞東小学校

五霞東小では、昨年度から、音読に力を入れ、指導をしています。音読には、脳の働きを活性化し、学力向上につながるこ

とがさまざまな研究で実証されています。

さらに、ただ音読学習で終わらずに、文章の内容理解、幅広い読書活動、さらにさまざまな心情を理解できる心豊かな児童の育成に努めてきました。保護者から今年度もぜひ続けてほしいという要望が多く出され、今年度はさらに、書く力、説明する力を取り入れ、国語力を生かした学習指導ということで、国語と算数に力を入れていきます。

初めは、「みんなの前で音読するなんて恥ずかしい……」という意見が多かった音読集会……今では児童のアンケートから、

「楽しい」「緊張するけれど慣れてきた」「他のクラスがどんな発表をするのが楽しみ」という意見が大半を占めるようになりました。そのように、東小の音読集会はすごい！今年度も10月に開催されるけやき祭り、11月に行われる教育の日に発表されますので、どうぞ聞きに、見に行ってください！

どんなところがすごい！のか……例えば、昨年度の1年生の発表では「おかあさん」という詩がいろいろなお母さんの絵とともに登場しました。また、2年生はピアノのBGMのなかで心に響く発表でした。3年生はリズム体操を取り入れた音読で、聴いていた児童も動き出していました。4年生では「祭り」を声で表現し、その熱気が伝わってきました。5年生はご存じスマップの「ありがとう」という流行歌をラップ風にアレンジし、楽しさを伝えました。6年生は金八先生でも使われた「生きる」という谷川俊太郎さんの詩を一人一人が思いきり声を出し、熱唱ならぬ熱読を披露し、感動を与えてくれました。

そして今年度、1学期は朝自習の20分を使っての、各クラス5分程度、ブロックごとの短い発表ですが、それぞれ楽しい工

夫がなされていきました。ここに6年生2クラスの発表風景を紹介いたします。

「お経」では、リズムパーカッションを取り入れ言葉遊びの楽しさを伝えてくれました。

合間の「チーン」が笑いを誘いました。



「雲」の発表では、体育館の上から三方に分かれ、「おうい、雲よ」と呼びかけました。声の反響が雲の動きを表しました。

